

ケーブルテレビ事業者様の営業活動

日本国内のケーブルテレビのCS多チャンネル放送サービス(以下「多チャンネルTVサービス」)加入世帯数は、2024年3月末時点で約761万世帯、NETサービスは約1,097万世帯であり主要サービスの位置づけのひとつとなっている(出典：一般社団法人日本ケーブルテレビ連盟『ケーブルテレビ業界レポート2024』p.13,16)。今回は、ケーブルテレビ業界の柱となる多チャンネルTVサービスとNETサービスに焦点をあて、北関東の2事業者様の営業における取り組み状況についてお話を伺った。

テレビ小山放送株式会社の営業活動

テレビ小山放送株式会社(以下、「小山様」)は栃木県小山市で事業を展開されている事業者で、多チャンネルTVサービス営業に関して加入者様一人ひとりに寄り添う新たな取り組みを進められている。

<企業情報>

本社所在地	栃木県小山市
対象エリア	・小山市全域 ・野木町全域 ・上三川町の一部
多チャンネル契約世帯数	7,412件(2025年3月現在)

【再送信コースからのアップセルキャンペーン】

小山様は、電波障害による再送信世帯を取り込み成長されてきた経緯があるが、更なる成長の為に再送信コース加入者様のアップセルに取り組んでいる。その施策のひとつとして、2024年夏から現在まで多チャンネルTVサービスを半年間無償で視聴することができるキャンペーンを実施している。再送信コース加入者様へのキャンペーンの案内方法は、お客様情報を活用しダイレクトメールにてキャンペーン告知を実施し、その後に電話フォローを行うものである。なお、本キャンペーンに係る費用は小山様が負担されている。

電話フォロー時には既契約である関係値を活かし、加入者様の興味・関心を丁寧にヒアリングしたうえで、それに応じたCSチャンネルに関する会話を通じて、多チャンネルTVサービスに関する興味を喚起し、半年無償であることをフックにご利用を促すもので、地道なフォローにより多くの方にキャンペーン参加をいただいている。そしてキャンペーンの結果、無料期間終了後に加入者様がそのまま多チャンネルTVサービスを継続する残存率は32%となっており、着実な成果をあげている。

【サンクスコール】

小山様では、2024年夏頃より「サンクスコール」を行っている。これは、サービス導入工事後、1~2ヶ月経過した加入者様に対し、お客様サポート課から電話でアフターフォローをする取り組みである。

サンクスコールを行うことで、STBの操作方法が分からず使わなくなってしまう、解約に繋がることを未然に阻止することが主な目的だが、サービス開始後も様々なお困りごとを解決することで、ケーブルテレビ事業者様をより身近な存在として感じていただけるよう取り組んでいる。なお、サンクスコールを通じて小山様社内での加入者様フォローの方法や営業トークの検討など、知見蓄積にも繋げている。

若手社員の営業活動

人と関わる仕事がしたいという思いから、2024年に小山様に入社された石瀧様は、今年で入社2年目を迎えた。

1年目には、新規契約獲得営業やアップセル営業、飛び込み営業を経験した。特に新規契約獲得営業では、ご案内をする前に断られることもあり、落ち込むこともあった。

ただ、加入者様からの「ありがとう」や「助かった」という温かい声や上司や同僚の方からの支えが営業活動を行う上で大きな支えとなっている。



営業推進部 営業課
石瀧 陽菜様

加入者様との繋がりを深める取り組み

今回の取材を通じて、小山様では、多チャンネルTVサービスのキャンペーンを通じて新規契約/アップセルのきっかけを作り、サンクスコールでは加入者様との繋がりを深めていることがわかった。

更に、若手社員の石瀧様も加入者様からの声を胸に丁寧な対応で営業活動に取り組まれており、経験豊富な方々が多く活躍する業界だからこそ、石瀧様のような若手社員の成長と挑戦が、これからの新たな力としてますます期待されると感じた。

佐野ケーブルテレビ株式会社の営業活動

<企業情報>

本社所在地	栃木県佐野市
対象エリア	・佐野地区全域 ・田沼地区 一部エリア外 ・葛生地区 一部エリア外
多チャンネル契約世帯数	4,612件(2025年5月現在)

【社員全員参加の営業戦略】

佐野様では、2016年8月より開始したHFCからFTTHの巻き取りを、2026年3月に終了する予定でFTTH化の最終段階を迎えている。

2024年春頃から巻き取りをより加速させるための施策として、全世界帯の加入者様にご案内やご説明を行うことを目的に、営業職だけにとどまらず、顧客管理を始めとした内勤職や技術職も一体となり、営業活動に取り組んでいる。具体的には、社員全員に担当エリアを振り分けて、内勤職と営業職、内勤職と技術職というような2人体制で営業を行っている。この社員全員が加入者様宅に伺う取り組みは佐野様ならではである。

取り組みの結果、2025年6月時点で戸建てでは18,250件のうち加入者様宅への引き込みの残りの世帯数はわずか300件程、集合住宅では735件のうち未接触の世帯が14件となり、着実に巻き取りを進めている。

また、社員全員での訪問だけでなく、NETサービスの新規契約を獲得するために様々なキャンペーンを行っている。このキャンペーンの大きな特徴は、幅広い年代の加入者様・未加入者様に様々なサービスを開始いただくための施策を導き出すため、内容を定期的に変更し実施と分析を行っていることである。

2023年12月からは「1Gコース半年半額キャンペーン」を実施し、無料期間終了後の残存率は約70%となった。現在は「1Gコース3か月無料キャンペーン」の施策を行っており、期間終了後に再度分析、また形を変えてキャンペーンを実施する想定である。

若手社員の営業活動

営業スキルを身につけたいという思いから2022年に佐野様へ入社された野本様。そして、佐野市で働き続けたいという強い意志を持ち、2023年に入社された坂村様。今回は、このお2方にお話を伺った。



左：営業部 野本 啓介様
右：営業部 坂村 康平様

お客様と関わる時に意識しているポイントとして、加入者様に親しみやすさを感じてもらえるように「フレンドリーに話すこと」を挙げていた。

お客様に思うようにお話を聞いていただけず、気持ちが沈むこともあったが、諦めずに根気強く、笑顔で絶やさず対応されている。

そして、無料のアフターサービスで直接お客様から指名をされたときに、やりがいや嬉しさを感じているという。

佐野ケーブルテレビを広げる取り組み

佐野様では、TV以外にもNETなどのサービスも行っているということ、地元の人に知ってもらうための手段として、昨年からの地域のお祭りやイベントに出店している。

自分たちで手作りした千本くじなどで地域の方々と親交を深め、自社サービスをアピールしている。イベントでの主な活動内容は、加入者様へのアンケートや公式LINE登録案内、未加入者様にはヒアリングやファミリー向け多チャンネルTVサービスの案内、パンフレットの配布を行っている。

また、2024年10月1日から開始した公式LINEからは、チャットでの問い合わせや番組のプレゼントキャンペーンに応募できるようになっていることが好評を博して、友だち登録が1,000名を超えている。佐野様では、このような様々な新しい活動に多く取り組んでいる。

JCOM株式会社の集合住宅向けと戸建て向けの「防犯カメラサービス」

近年、ケーブルテレビ業界を取り巻く事業環境変化を受け、既存の強みを活かしながら新たな取り組みを実践する事業者が全国で着実に増えている。

本号では米国で日本より一足早く、ケーブルテレビ事業者様の柱事業に成長している「防犯カメラサービス」の取り組みに注力しているJCOM株式会社(以下JCOM様)の製品企画・プロモーション部プロモーション企画推進グループ林俊治様にお話を伺った。



製品企画・プロモーション部
プロモーション企画推進グループ
林 俊治様

しかし、たとえ高価で高性能なカメラを設置したとしても、それが犯罪の抑止につながらなければ、本来の目的を果たしているとは言えない。そこでJCOM様は、カメラのスペックを競うものではなく、「録画による記録」と「犯罪の抑止効果」に重点を置き、「レンタル型」で安価なサービスを提供することとした。

さらに、既に通信インフラを整備し、地域住民にとって身近な存在であるケーブルテレビ事業者様だからこそ、申し込み・設置から運用まで安心して任せられる。

地域密着型のケーブルテレビ事業者の強みを活かして提供できるのが、この防犯カメラサービスである。

ケーブルテレビ事業者様への卸提供

JCOM加入者様から好評を得たことを受け、全国のケーブルテレビ事業者ご加入者様からも高い満足度を得られるサービスだと考え、2025年5月よりケーブルテレビ事業者様向けにも卸サービスの提供を開始した。

卸サービス提供にあたり、JCOM様はアプリ提供、カメラのレンタル、ケーブルテレビ事業者様向けサポート窓口をご用意。更に、サービス導入後に販売ノウハウ(営業トーク/販促ツール/キャンペーン/警察連携)、工事手法、データ分析などのナレッジ共有が可能である。このようなフォローアップがあるため、すぐにサービスを開始することができる。

現在は、9事業者が既に導入しており、その他導入を検討中のケーブルテレビ事業者様が増加しているとのことだ。

なお、卸サービスとなっているため、ケーブルテレビ事業者様側でサービス名称や料金形態は自由に設計でき、自社サービスとのバンドルも可能となっている。例えば、防犯カメラサービスはNETを利用するため、NETと組み合わせた商品を用意することで、他社NET利用者様の乗り換えも期待できる。

今後の展望

現在、防犯カメラは、主に玄関への設置が中心となっているが、車庫への設置を希望する声も寄せられるなどニーズの多様化が進んでいる。しかし、地域によっては、自宅から離れた場所に車庫があるケースもあり、そのような環境では電源の確保が難しいという課題がある。

こうした状況を踏まえ、JCOM様では今後、自宅の構造や利用者の生活スタイルに合わせた柔軟なカスタマイズが可能となるよう、サービスの改善を検討しているという。

さらに、利用者の利便性向上を目的として、スマートフォン用アプリの機能アップデートを行い、使いやすいアプリケーションを目指している。

おわりに

防犯カメラサービスは、JCOM様によるサポートが充実しているため、気軽にサービスを開始する事ができることが分かりました。更に、普段地域と密に接しているケーブルテレビ事業者様のサービスだからこそ、加入者様に安心も提供できると感じました。

今月に開催されるケーブルテレビ技術ショー2025でも出展し、カメラの展示や既にサービスを導入されているケーブルテレビ事業者様のお声をパネルで紹介されるとのことでしたので、ご興味のある方は、是非会場のブースに足を運んでみてはいかがでしょうか。

■お問い合わせ先:各JCOM営業ご担当者様へお問い合わせください。

JCOM様の防犯カメラサービス

JCOM様では防犯カメラサービスを注力商材として位置づけ、24年2月から集合住宅の加入者様へ提供を開始した。カメラはレンタル形式で1台当たり月額2,480円(税抜)、設置に必要な標準工事費は9,800円(税抜)という手頃な価格で利用できる。



JCOM様でご提供中の
防犯カメラ

また、加入者様はスマートフォン用アプリを通じて、リアルタイムで映像を確認したり、録画データを検索・再生したりすることが可能である。LEDライトや人感センサー、スピーカー・マイクも搭載されており、夜間の監視や音声による対応もできる。そして、KDDI社と共同で開発したアプリケーションであるため、国内の企業が携わっている安心さや国外へのデータ流出のリスクもなく、スマートフォン用アプリ加入者様は安心してご利用いただける。 ※クリックして拡大できます。



他社サービスとの違いとして、JCOM様では「買い切り型」ではなく「レンタル型」である点が挙げられる。加入者様は、機器の故障時には無償交換が可能で、防犯対策を継続して実施することができるメリットがある。

JCOM様では、新規顧客に対しモバイルやNETの乗り換え提案とセットで防犯カメラサービスを紹介している。既存顧客にはJCOM LINKの置換訪問時やアフターサポートのタイミングで案内を行い、ARPU向上/RGU獲得増加や解約抑止ツールとして活用するなど、柔軟な営業戦略を展開している。

JCOM様では防犯カメラサービスを単なる監視機能の提供にとどまらず、ユーザーの生活に寄り添った安心と利便性を提供するソリューションとして、今後ますますの普及を目指すサービスと位置付けている。

サービス開始の経緯

近年、防犯意識の高まりとともに、個人で防犯カメラを購入・設置するケースも増えており、市場には多くのカメラが販売されている。販売されているカメラは安価なものから高価なものまで多岐に渡る。

satonoka
今月の生中継

【生中継】書道パフォーマンス甲子園 第18回大会
放送日時 7月27日(日)8:45~18:00



制作局/四国中央テレビ

日本一の紙の町、愛媛県四国中央市で行われる「書道パフォーマンス甲子園」。一筆に想いをかけた高校生たちが、音楽に合わせて6分間という限られた時間で縦4メートル×横6メートルの紙に作品を書き上げます。また、第18回目を迎えた今大会は、上位入賞校が8月21日に大阪・関西万博EXPO大会に出場しますので、優勝の行方と共にEXPO大会の切符を手にする学校にも注目してご覧ください。

■詳細情報は[コチラ](#)

オススメ番組

【速報】第51回日本ケーブルテレビ大賞 番組アワード
グランプリ総務大臣賞 / 準グランプリ受賞作
放送日時 7月24日(木)15:00~17:00



全国のケーブルテレビ各社が制作する数多の番組の中から優れた作品を表彰する「日本ケーブルテレビ大賞」。今年も、贈賞式での発表直後にグランプリ総務大臣賞・準グランプリを受賞した作品をいち早く放送します。どんな作品がグランプリに輝くのか、テレビの前から是非一緒に見守りましょう！

CableGate

CableGate リモート録画予約サービスの魅力と使い方

CableGate リモート録画予約サービスとは、忙しい生活の中で見逃したくないテレビ番組を外出先からでもスマートフォンやパソコンを使って簡単に録画予約できる便利な機能です。本号では、本機能の魅力と使い方について紹介します。

■魅力

- どこからでもアクセス可能：外出先や旅行中でもインターネット接続デバイスから録画予約が可能で、急な予定変更や外出中に見たい番組を見逃す心配がありません。
- 簡単な操作：直感的な操作で、番組表から見たい番組を選択し、リモート録画ボタンを押すだけで簡単に録画予約が完了します。

■使い方

- 会員登録と機器情報設定：番組表サイトにアクセスし、会員登録と機器情報を設定します。既に登録済みの場合はログインします。
- リモート録画予約の設定と確認：番組表から録画したい番組を選択し、リモート録画ボタンを押した後、予約画面または録画画面で予約内容や録画結果を確認します。

ご利用希望の場合は、ご契約手続きが必要ですので、当社の担当営業または CableGate 事務局までご連絡ください。

■お問い合わせ先

CableGate事務局(cg-service@jdservice.co.jp)



みるプラス
7月のおすすめ

今月のみるプラスのおすすめはこの3本！

1)「サンダーボルト*」(7月1日 配信)

マーベル・スタジオが贈る劇場ヒット作！型破りなマーベルの新チーム「ニュー・アベンジャーズ」誕生の物語。フローレンス・ピュー、セバスチャン・スタンほか出演。7月25日「ファンタスティック4：ファースト・ステップ」公開でMCU作品が盛り上がるタイミング！

2)「グッド・ドクター7 名医の条件 ザ・ファイナル」(7月23日 配信)

天才的な能力を持つ自閉症でサヴァン症候群の青年ショーンが、医師として人間として成長していく姿を描いたメディカルドラマ。主演のフレディ・ハイモアがプロデューサーとしても参加。シーズン1~6もTVODで配信中。

3)「ラストマイル」(7月25日 配信)

興行収入60億！テレビドラマ「アンナチュラル」「MIU404」の監督・塚原あゆ子と脚本家・野木亜紀子が再タッグを組んだ大ヒット作。満島ひかり、岡田将生出演、物流センターでの連続爆破事件の行方を描いたサスペンス映画！

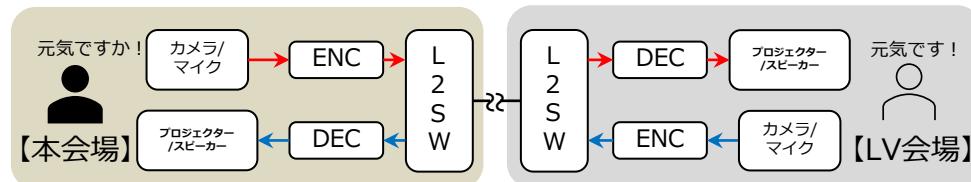
今月もみるプラスでお楽しみください！



ライブビューイング(LV) オシビュー

双方向演出用の機器構成

4月に実施した「なすなかにしのお笑いフェスティバル〜松竹芸人大集合〜」では、双方向演出の実施のため以下のような構成を組みました。



本会場の芸人とLV会場のお客様の掛け合いを演出の中心に据えたお笑いイベントのため、通信環境において、よりスムーズでストレスの少ない専用線を採用しました。これにより、映像・音声の遅延を極力抑え、ストレスのない快適な双方向コミュニケーションを実現しました。

しかし、専用線は決して安価とは言えません。数秒の遅延が生じても演出に影響しない公演の場合は、専用線以外の回線も選択の候補に入れ、当社は品質とコストのバランスを考慮しながら、より良い双方向演出を取り入れたLVイベントをこれからも数多く企画して参ります。

今後の実施LV案件

ライブビューイング オシビューHP: <https://www.oshiview.jp/>

Suzuka Tomita (Hinatazaka46)
One Last Live Viewing

日時 : 7月23日(水) 19時開演
本会場 : 立川ステージガーデン
LV会場 : 全国映画館10館

お知らせ

ケーブル技術ショー 2025出展のお知らせ

当社は7月24日(木)、25日(金)に東京国際フォーラム ホールEで開催される「ケーブル技術ショー 2025」に出展します。

ケーブルテレビ事業者様の更なるサービスの高度化、拡大に繋がるよう提供サービスに関する情報展示等を行います。

サービス開始から3年目を迎える、配信ネットワークを活用し全国にライブエンターテインメントを提供するライブビューイングサービス「オシビュー」、『地域の魅力 つなげる、つながる』をスローガンに地域の活性化に資する活動としての「satonokaプロジェクト」、「ケーブルIDプラットフォーム」、さらにVOD「みるプラス」では新サービス「ストーリーミングチャンネル」のご紹介も予定しております。

また、昨年に引き続き、更なる検討・検証を続けているIP放送「STBレスソリューション」について展示します。

皆様のお越しを心よりお待ちしております。

当社出展ブース

